

令和2年5月11日
新型コロナウイルス感染症対策専門家会議

「新型コロナウイルス感染所対策の現状分析・提言」（2020年5月4日）
の一部訂正について

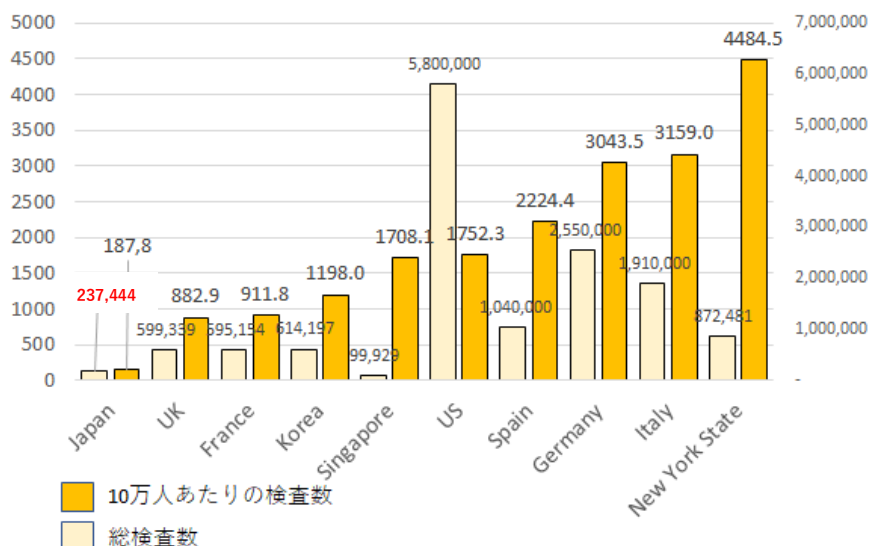
「新型コロナウイルス感染所対策の現状分析・提言」（2020年5月4日）中、PCR等検査に関する記載について、一部データを修正したため、別紙のとおり訂正します。

なお、これに併せ、「(概要) 新型コロナウイルス感染症対策の現状分析・提言」についても訂正します。

補論図 1、脚注 1 (14 頁)

【訂正後】(変更箇所; 赤字)

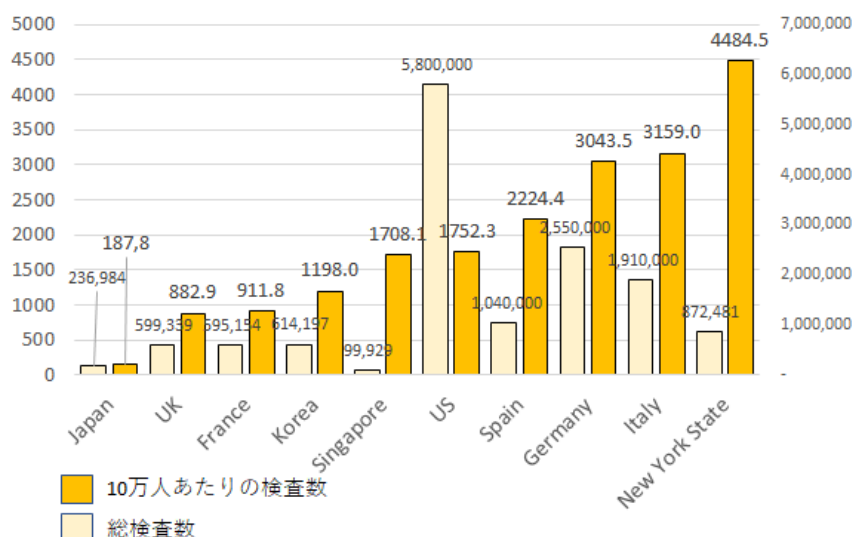
【図 1 各国、地域における PCR 等検査数の比較】



¹ 日本の数字は、5月3日時点で確認されている2月18日から4月29日に地方衛生研究所・保健所、民間検査会社、大学等、医療機関で行われた合計の検査数(237,444検体)であり、検疫所の21,602例や国立感染症研究所の8,172例は含んでいない。ただし、一定割合で、退院時の陰性確認や同一症例に繰り返し検査が行われたものを含んでいる。(後略)

【訂正前】

【図 1 各国、地域における PCR 等検査数の比較】



¹ 日本の数字は2月18日から4月29日に地方衛生研究所、民間、大学、医療機関で行われた合計の検査数(236,984検体)であり、検疫所の21,602例や国立感染症研究所の8,172例は含んでいない。ただし、一定割合で、退院時の陰性確認や同一症例に繰り返し検査が行われたものを含んでいる。(後略)

脚注 2 (15 頁)、脚注 4 (17 頁)

【訂正後】(変更箇所；赤字)

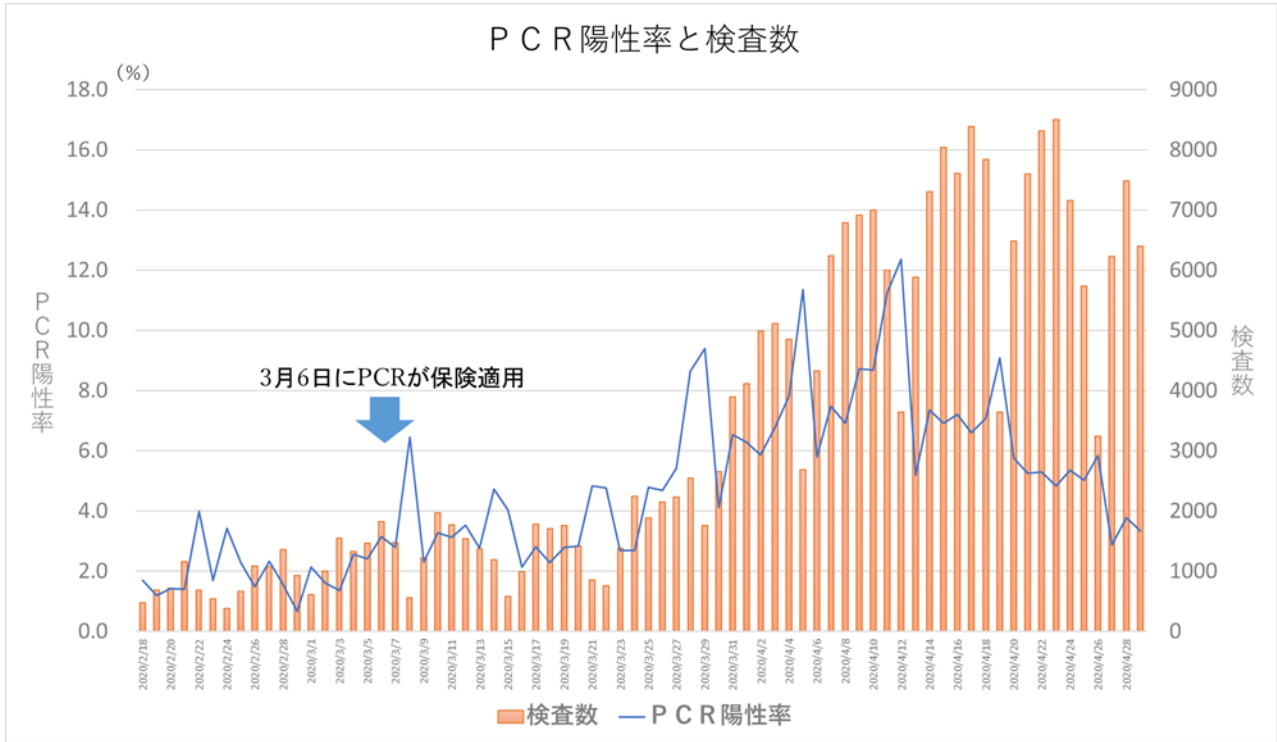
- ² 海外ソースは脚注 1 と同じ。日本の数字は、5 月 3 日時点で確認されている 2 月 18 日から 4 月 29 日に地方衛生研究所・保健所、民間検査会社、大学等、医療機関で行われた合計の検査数 (237,444 検体) を分母として、国内陽性確定例を割ったものである。ただし、一定割合で、退院時の陰性確認や同一症例に繰り返し検査が行われたものを含んでいる。検疫所の 21,602 例や国立感染症研究所の 8,172 例は含んでいないが、これは、検疫所で行った検査は陽性であったとしても国内発生例として取り扱わないため、分子、分母ともに含めないためである (国立感染症研究所もこうした事例を多数含むため、合計に加えていない。)。これらを含めた場合、陽性率はさらに低くなるが見込まれる。
- ⁴ 日本の数字は、5 月 3 日時点で確認されている 2 月 18 日から 4 月 29 日にかけて、地方衛生研究所・保健所、民間検査会社、大学等、医療機関で行われた 1 日当たりの合計の検査数を分母として、それぞれの日の国内陽性確定例を割ったものである。ただし、一定割合で、退院時の陰性確認や同一症例に繰り返し検査が行われたものを含んでいる。脚注 2 でも記載したとおり、検疫所や国立感染症研究所のデータは含めていないが、これを含めると陽性率はさらに低くなる。

【訂正前】

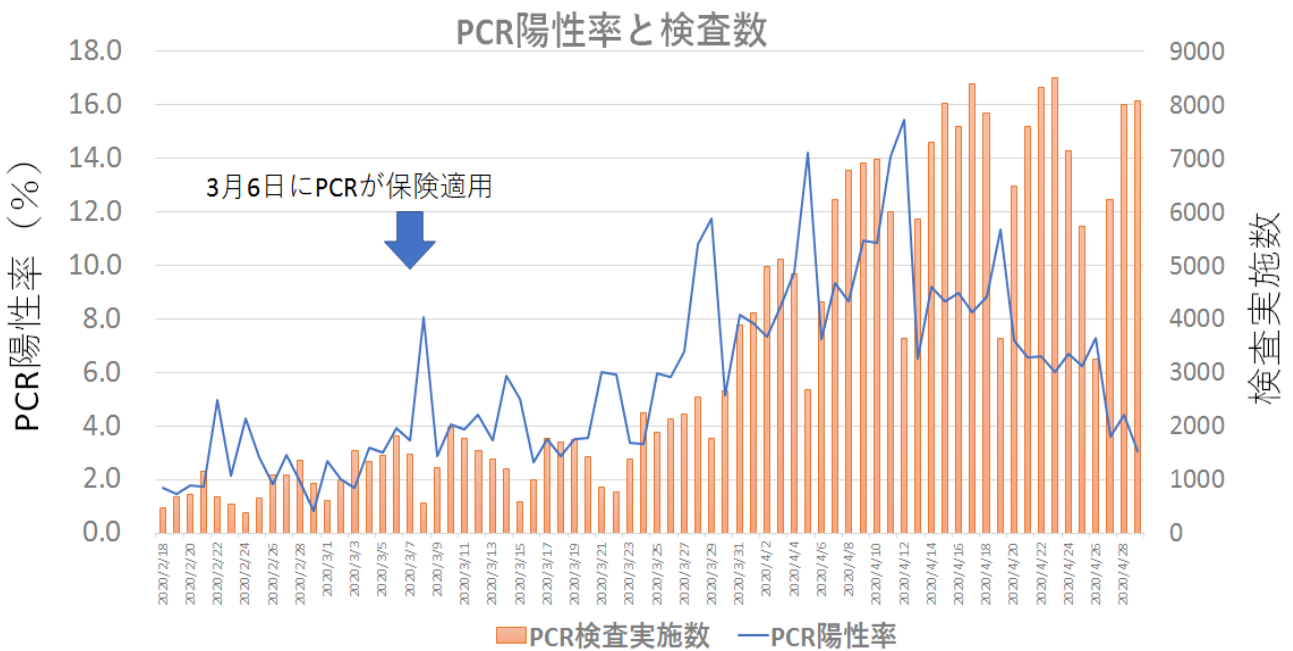
- ² 海外ソースは脚注 1 と同じ。日本の数字は 2 月 18 日から 4 月 29 日に地方衛生研究所、民間、大学、医療機関で行われた合計の検査数 (236,984 検体) を分母として、国内陽性確定例を割ったものである。ただし、一定割合で、退院時の陰性確認や同一症例に繰り返し検査が行われたものを含んでいる。検疫所の 21,602 例や国立感染症研究所の 8,172 例は含んでいないが、これは、検疫所で行った検査は陽性であったとしても国内発生例として取り扱わないため、分子、分母ともに含めないためである (国立感染症研究所もこうした事例を多数含むため、合計に加えていない。)。これらを含めた場合、陽性率はさらに低くなるが見込まれる。
- ⁴ 日本の数字は、2 月 18 日から 4 月 29 日にかけて、地方衛生研究所、民間、大学、医療機関で行われた 1 日当たりの合計の検査数を分母として、それぞれの日の国内陽性確定例を割ったものである。ただし、一定割合で、退院時の陰性確認や同一症例に繰り返し検査が行われたものを含んでいる。脚注 2 でも記載したとおり、検疫所や国立感染症研究所のデータは含めていないが、これを含めると陽性率はさらに低くなる。

図5（7頁）及び補論図6（18頁）

【訂正後】

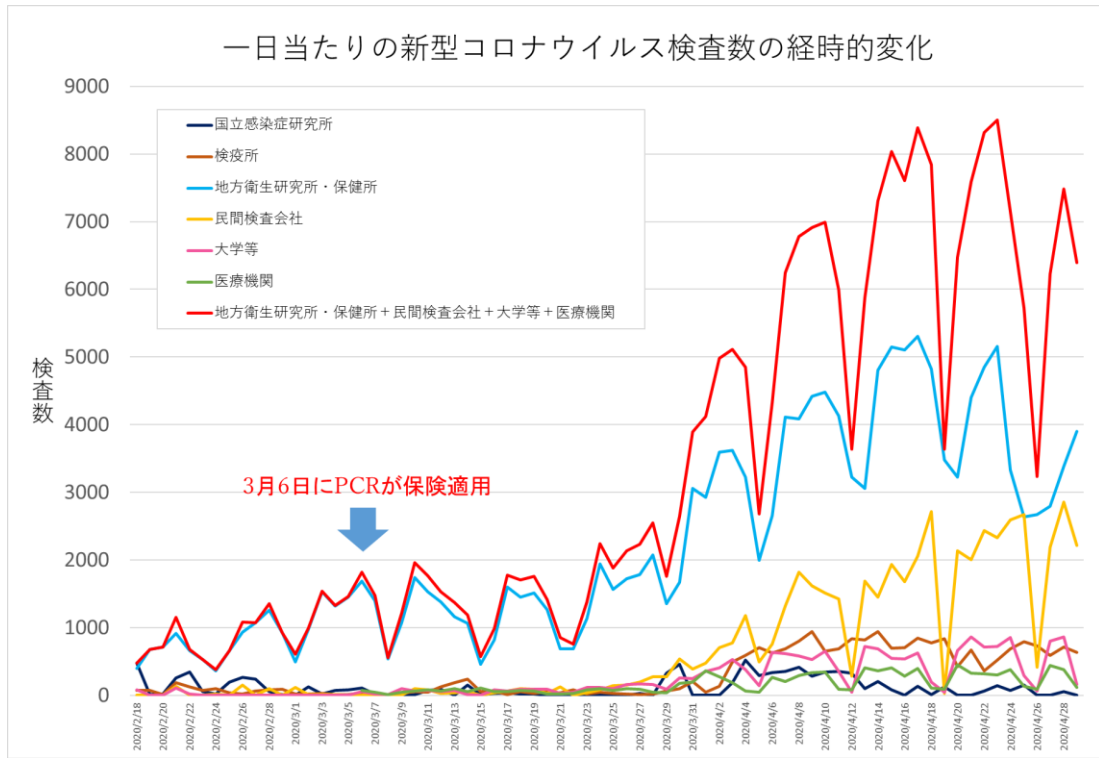


【訂正前】



補論図5 (17頁)

【訂正後】



【訂正前】

